

21世紀は、「人権の世紀」と言われています。この言葉の背景には、2度にわたる世界大戦を通して、世界の人々は平和の大切さや、最大の人権侵害は戦争であることを学びました。そして、人権の尊重こそが平和への基礎であるという大きな教訓を得ました。

平成14年3月に発表された「人権教育・啓発に関する基本計画」（平成23年4月一部変更）には、日本固有の人権問題である同和問題をはじめ、アイヌの人々の人権、女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障がい者の人権、外国人の人権、HIV感染者の人権、ハンセン病患者・回復者の人権、犯罪被害者とその家族の人権、刑を終えて出所した人々の人権、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題など、多種多様な人権問題が提起されています。

また、新たな人権課題として、ホームレスの人々、そして人身取引、性的マイノリティ（性的少数者）、原発事故以降の福島の人々に対する差別問題などもあります。

どの課題につきましても、解決に向け、積極的に取り組みが推進されています。

中央公民館で開催された第5回市民大学人権・同和教育講座では、性的マイノリティについての講演がありました。講演を通して、改めて無知・無関心が重大な人権侵害につながることや、性的マイノリティを人権問題として認識していない人が多くいることなど、多様な性の問題を正しく理解し、認識を深めることの大切さを学びました。

受講者からは、次のような感想が寄せられました。

○性的マイノリティも同和問題も根っこが近いような気がした。

○同性愛と性同一性障害の違いは分かっていたつもりでしたが、間違った理解をしていました。正しい認識が性的マイノリティの人々への理解につながると感じます。

私たち、一人一人の差別をなくする行動が人権を大切にす地域社会をつくるものだと信じています。

## 舞台用譜面台100台が寄贈されました

12月1日に、宇佐美 進さん（吉田）から丹原文化会館に舞台用譜面台100台が寄贈され、目録が手渡されました。

寄贈された譜面台は、文化会館の各種活動などに有効に利用させていただきます。



## 国際ソロプチミストいしづちから寄付・寄贈されました

11月17日に「国際ソロプチミストいしづち」から、社会貢献活動の一環として、西条地区防犯協会に対し、安全・安心見守りカメラ基金へ寄付をいただくとともに、市内保育所に対しても避難車が寄贈され、贈呈式が行われました。



## 環境に関する県民意識調査にご協力ください

今後の県の環境施策に活かすため、オンラインによるアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

- 期間 1月13日(火)～2月27日(金)
- 回答方法 ウェブ上で回答または郵送・FAX
- URL <http://www.pref.ehime.jp/h15600/k-ishiki/annai.html>
- 問合せ 愛媛県環境政策課  
TEL089-912-2345  
FAX089-912-2344

## ありがとうございました

次の方々からまごころ銀行にご厚志をいただきました。

心からお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

### ■個人

○柳瀬英子（壬生川）

### ■各種団体

○創作の家 陶芸クラブ

○(株)こっこー ○てんまり

○かれん美容室 ○庄内公民館

### ■問合せ

西条市社会福祉協議会 TEL0898-64-2600

